

## ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型） ＜愛称 ニュージーボンド＞

### 運用報告書（全体版）

第132期（決算日 2025年2月18日） 第134期（決算日 2025年4月18日） 第136期（決算日 2025年6月18日）  
第133期（決算日 2025年3月18日） 第135期（決算日 2025年5月19日） 第137期（決算日 2025年7月18日）

#### 受 益 者 のみ な さ ま へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型）」は、2025年7月18日に第137期の決算を行ないましたので、第132期から第137期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年2月18日から2029年1月18日までです。	
運用方針	主として「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型）	「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ニュージーランドドル建債券マザーファンド	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限	ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型）	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	ニュージーランドドル建債券マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘査して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)

<642266>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は  
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。  
社名変更後URL：[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	債券組入比率					純資産額 百万円	
		税分	込配	み金	期騰	中落率		
108期(2023年2月20日)	円 7,951			円 8		% △1.8	% 97.5	2,617
109期(2023年3月20日)	7,891			8		△0.7	97.4	2,553
110期(2023年4月18日)	8,024			8		1.8	97.1	2,581
111期(2023年5月18日)	8,274			8		3.2	97.9	2,641
112期(2023年6月19日)	8,373			8		1.3	98.2	2,649
113期(2023年7月18日)	8,313			8		△0.6	98.4	2,593
114期(2023年8月18日)	7,957			8		△4.2	97.2	2,476
115期(2023年9月19日)	8,078			8		1.6	97.7	2,476
116期(2023年10月18日)	7,970			8		△1.2	97.4	2,395
117期(2023年11月20日)	8,449			8		6.1	98.5	2,488
118期(2023年12月18日)	8,484			8		0.5	97.3	2,423
119期(2024年1月18日)	8,693			8		2.6	97.7	2,429
120期(2024年2月19日)	8,713			8		0.3	97.4	2,396
121期(2024年3月18日)	8,707			8		0.0	96.9	2,357
122期(2024年4月18日)	8,615			8		△1.0	97.0	2,315
123期(2024年5月20日)	9,246			8		7.4	97.9	2,458
124期(2024年6月18日)	9,373			8		1.5	97.9	2,465
125期(2024年7月18日)	9,319			8		△0.5	97.9	2,411
126期(2024年8月19日)	9,016			8		△3.2	97.2	2,305
127期(2024年9月18日)	8,845			8		△1.8	98.0	2,240
128期(2024年10月18日)	9,006			8		1.9	96.9	2,263
129期(2024年11月18日)	8,821			8		△2.0	98.2	2,185
130期(2024年12月18日)	8,752			8		△0.7	98.0	2,144
131期(2025年1月20日)	8,564			8		△2.1	98.1	2,069
132期(2025年2月18日)	8,579			8		0.3	97.6	2,059
133期(2025年3月18日)	8,590			8		0.2	97.1	2,053
134期(2025年4月18日)	8,497			8		△1.0	96.9	2,022
135期(2025年5月19日)	8,497			8		0.1	97.7	2,002
136期(2025年6月18日)	8,702			8		2.5	97.6	2,037
137期(2025年7月18日)	8,848			8		1.8	98.2	2,057

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債組入比率	券率
		騰	落		
第132期	(期 首) 2025年 1月 20日	円 8,564	—	—	98.1
	1月末	8,615	0.6	98.0	
	(期 末) 2025年 2月 18日	8,587	0.3	97.6	
第133期	(期 首) 2025年 2月 18日	8,579	—	97.6	
	2月末	8,340	△2.8	97.7	
	(期 末) 2025年 3月 18日	8,598	0.2	97.1	
第134期	(期 首) 2025年 3月 18日	8,590	—	97.1	
	3月末	8,446	△1.7	97.3	
	(期 末) 2025年 4月 18日	8,505	△1.0	96.9	
第135期	(期 首) 2025年 4月 18日	8,497	—	96.9	
	4月末	8,467	△0.4	97.1	
	(期 末) 2025年 5月 19日	8,505	0.1	97.7	
第136期	(期 首) 2025年 5月 19日	8,497	—	97.7	
	5月末	8,527	0.4	97.8	
	(期 末) 2025年 6月 18日	8,710	2.5	97.6	
第137期	(期 首) 2025年 6月 18日	8,702	—	97.6	
	6月末	8,788	1.0	97.9	
	(期 末) 2025年 7月 18日	8,856	1.8	98.2	

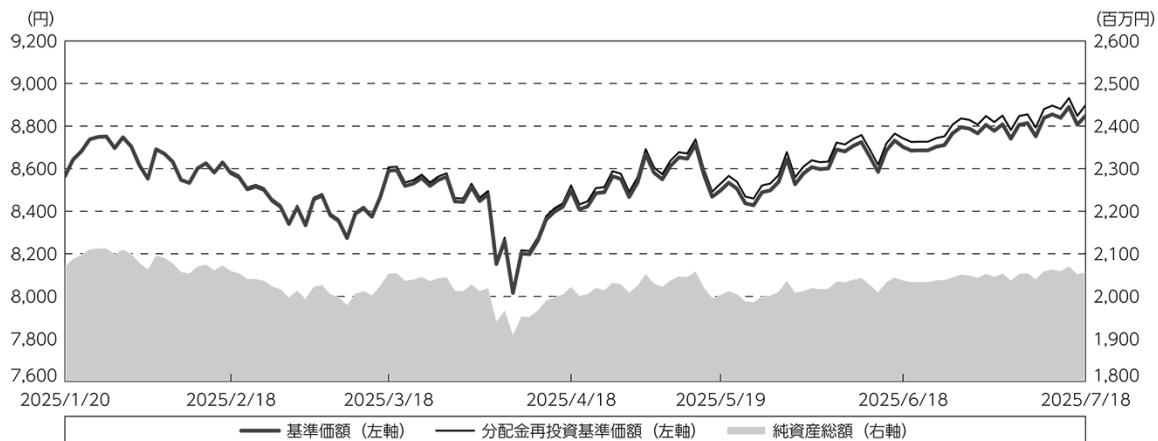
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2025年1月21日～2025年7月18日)

## 作成期間中の基準価額等の推移



第132期首：8,564円

第137期末：8,848円 (既払分配金(税込み)：48円)

騰落率：3.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年1月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、ニュージーランドドル建ての公社債に実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・ニュージーランドの5年国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。

## 投資環境

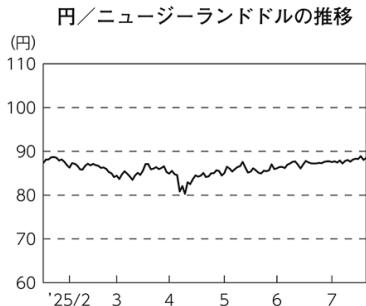
### （ニュージーランド債券市況）

ニュージーランドの債券市場では、期間の初めと比べて5年国債利回りは低下しました。

期間の初めから2025年4月下旬にかけては、ニュージーランドの国内総生産（GDP）成長率が市場予想を上回ったことなどは利回りの上昇（債券価格は下落）圧力となったものの、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が政策金利を引き下げ、今後の追加利下げを示唆したことや、米国政権が貿易相手国に対して発表した相互関税で幅広く関税を引き上げる方針を示し世界経済への影響が懸念されたことなどから、ニュージーランドの5年国債利回りは低下しました。5月上旬から期間末にかけては、RBNZが追加利下げを実施したことなどが利回りの低下要因となったものの、今後の追加利下げ観測が後退したことや、米国と中国が互いの関税を引き下げることで合意し、米中間の貿易摩擦を巡る過度な警戒感が後退したことなどから、ニュージーランドの5年国債利回りは上昇しました。

### （為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

### （当ファンド）

当ファンドは、「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

### （ニュージーランドドル建債券マザーファンド）

ポートフォリオでは、BBB一格相当以上のニュージーランドドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別しました。

期間中、ニュージーランドドルの組入比率を高位に保ちました。債券種別では、国債と比較して投資妙味の高いニュージーランドドル建ての地方債や国際機関債などの組入比率を高位に保ちました。ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）は、市場比で中立付近としました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2025年1月21日～ 2025年2月18日	2025年2月19日～ 2025年3月18日	2025年3月19日～ 2025年4月18日	2025年4月19日～ 2025年5月19日	2025年5月20日～ 2025年6月18日	2025年6月19日～ 2025年7月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	8 0.093%	8 0.093%	8 0.094%	8 0.094%	8 0.092%	8 0.090%
当期の収益	8	8	8	8	8	8
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	375	381	386	391	406	420

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ニュージーランドドル建債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (ニュージーランドドル建債券マザーファンド)

グローバルにインフレ率のピークアウトが確認され、各国の中央銀行による利下げが引き続き予想される中、グローバル債券市場は堅調に推移するものと考えています。ニュージーランド国債は2022年11月に主要な世界債券指数に組入れ開始となっており、ニュージーランド債券およびニュージーランドドルは安定して推移すると想定しています。

債券種別戦略につきましては、国債と州債のスプレッド（利回り格差）、事業債の信用力と国債とのスプレッドなどを分析したうえで戦略を決定し、高い収益の獲得をめざします。ポートフォリオ全体のデュレーションにつきましては、引き続き経済市場情勢に基づき決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2025年1月21日～2025年7月18日)

項目	第132期～第137期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 57	% 0.669	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(25)	(0.297)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(30)	(0.351)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	6	0.065	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	( 4)	(0.045)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合計	63	0.734	
作成期間の平均基準価額は、8,530円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

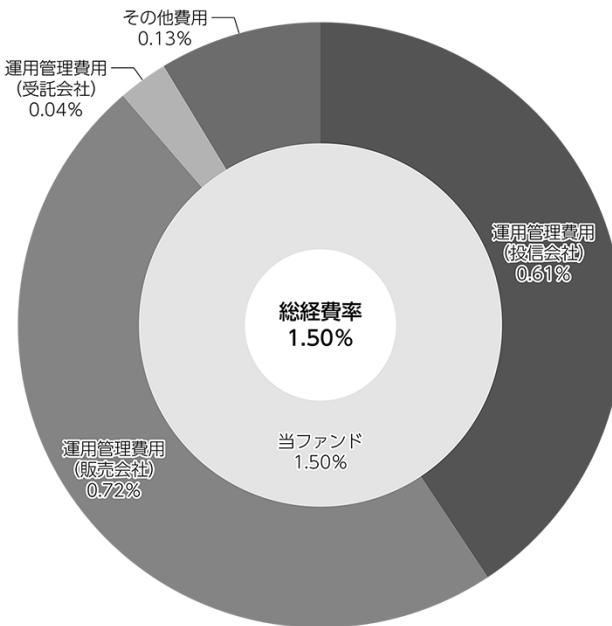
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2025年1月21日～2025年7月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第132期～第137期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュージーランドドル建債券マザーファンド	千口 一	千円 一	千口 70,673	千円 105,016

## ○利害関係人との取引状況等

(2025年1月21日～2025年7月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年1月21日～2025年7月18日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年1月21日～2025年7月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2025年7月18日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第131期末		第137期末	
	口 数	評 価 額	口 数	千円
ニュージーランドドル建債券マザーファンド	千口 1,397,424	千円 2,040,675	千口 1,326,751	

(注) 親投資信託の2025年7月18日現在の受益権総口数は、1,326,751千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2025年7月18日現在)

項目	第137期末	
	評価額	比率
ニュージーランドドル建債券マザーファンド	2,040,675	98.8
コール・ローン等、その他	25,489	1.2
投資信託財産総額	2,066,164	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ニュージーランドドル建債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（2,040,184千円）の投資信託財産総額（2,047,273千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1ニュージーランドドル=88.50円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
	2025年2月18日現在	2025年3月18日現在	2025年4月18日現在	2025年5月19日現在	2025年6月18日現在	2025年7月18日現在
(A) 資産	円	円	円	円	円	円
コール・ローン等	2,065,149,215	2,058,157,470	2,026,793,143	2,007,774,246	2,042,071,053	2,066,164,199
ニュージーランドドル建債券マザーファンド(評価額)	17,915,373	17,792,112	18,405,148	22,894,950	17,104,071	18,926,799
未収入金	2,040,614,618	2,034,206,928	2,002,340,266	1,984,878,991	2,017,281,508	2,040,675,862
未収利息	6,618,986	6,158,193	6,047,484	—	7,685,246	6,561,286
238	237	245	305	228	252	
(B) 負債	5,918,056	4,324,162	4,689,618	4,939,601	4,909,811	8,706,881
未払収益分配金	1,920,179	1,912,704	1,903,814	1,885,730	1,872,749	1,860,165
未払解約金	1,589,423	329	636	87,843	9,585	3,627,976
未払信託報酬	2,249,693	2,110,664	2,327,264	2,349,791	2,259,368	2,295,890
その他未払費用	158,761	300,465	457,904	616,237	768,109	922,850
(C) 純資産総額(A-B)	2,059,231,159	2,053,833,308	2,022,103,525	2,002,834,645	2,037,161,242	2,057,457,318
元本	2,400,224,199	2,390,880,532	2,379,767,927	2,357,162,820	2,340,936,632	2,325,206,858
次期繰越損益金	△ 340,993,040	△ 337,047,224	△ 357,664,402	△ 354,328,175	△ 303,775,390	△ 267,749,540
(D) 受益権総口数	2,400,224,199口	2,390,880,532口	2,379,767,927口	2,357,162,820口	2,340,936,632口	2,325,206,858口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,579円	8,590円	8,497円	8,497円	8,702円	8,848円

(注) 当ファンドの第132期首元本額は2,416,418,076円、第132～137期中追加設定元本額は5,938,914円、第132～137期中一部解約元本額は97,150,132円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第132期0.8579円、第133期0.8590円、第134期0.8497円、第135期0.8497円、第136期0.8702円、第137期0.8848円です。

(注) 2025年7月18日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は267,749,540円です。

## ○損益の状況

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2025年1月21日～ 2025年2月18日	2025年2月19日～ 2025年3月18日	2025年3月19日～ 2025年4月18日	2025年4月19日～ 2025年5月19日	2025年5月20日～ 2025年6月18日	2025年6月19日～ 2025年7月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,725	7,043	8,135	8,362	7,386	8,176
受取利息	6,725	7,043	8,135	8,362	7,386	8,176
(B) 有価証券売買損益	7,988,455	6,787,756	△ 17,790,777	4,331,467	52,395,629	38,292,073
売買益	8,139,226	6,994,910	86,290	4,557,576	52,492,543	38,368,436
売買損	△ 150,771	△ 207,154	△ 17,877,067	△ 226,109	△ 96,914	△ 76,363
(C) 信託報酬等	△ 2,408,454	△ 2,259,614	△ 2,491,501	△ 2,515,620	△ 2,418,811	△ 2,457,910
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,586,726	4,535,185	△ 20,274,143	1,824,209	49,984,204	35,842,339
(E) 前期繰越損益金	△180,427,984	△175,993,657	△172,477,332	△192,727,529	△191,394,500	△142,269,927
(F) 追加信託差損益金	△164,231,603	△163,676,048	△163,009,113	△161,539,125	△160,492,345	△159,461,787
(配当等相当額)	( 11,876,290)	( 11,866,221)	( 11,852,186)	( 11,773,236)	( 11,721,389)	( 11,672,733)
(売買損益相当額)	(△176,107,893)	(△175,542,269)	(△174,861,299)	(△173,312,361)	(△172,213,734)	(△171,134,520)
(G) 計(D+E+F)	△339,072,861	△335,134,520	△355,760,588	△352,442,445	△301,902,641	△265,889,375
(H) 収益分配金	△ 1,920,179	△ 1,912,704	△ 1,903,814	△ 1,885,730	△ 1,872,749	△ 1,860,165
次期繰越損益金(G+H)	△340,993,040	△337,047,224	△357,664,402	△354,328,175	△303,775,390	△267,749,540
追加信託差損益金	△164,231,603	△163,676,048	△163,009,113	△161,539,125	△160,492,345	△159,461,787
(配当等相当額)	( 11,877,218)	( 11,867,083)	( 11,853,433)	( 11,774,254)	( 11,722,195)	( 11,673,597)
(売買損益相当額)	(△176,108,821)	(△175,543,131)	(△174,862,546)	(△173,313,379)	(△172,214,540)	(△171,135,384)
分配準備積立金	78,183,370	79,309,057	80,054,069	80,536,309	83,402,061	86,191,693
繰越損益金	△254,944,807	△252,680,233	△274,709,358	△273,325,359	△226,685,106	△194,479,446

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2025年1月21日～2025年7月18日）は以下の通りです。

項目	2025年1月21日～ 2025年2月18日	2025年2月19日～ 2025年3月18日	2025年3月19日～ 2025年4月18日	2025年4月19日～ 2025年5月19日	2025年5月20日～ 2025年6月18日	2025年6月19日～ 2025年7月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,727,664円	3,377,991円	3,057,719円	3,160,783円	5,321,066円	5,239,511円
b. 有価証券買入益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	11,877,218円	11,867,083円	11,853,433円	11,774,254円	11,722,195円	11,673,597円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	76,375,885円	77,843,770円	78,900,164円	79,261,256円	79,953,744円	82,812,347円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	91,980,767円	93,088,844円	93,811,316円	94,196,293円	96,997,005円	99,725,455円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	383円	389円	394円	399円	414円	428円
g. 分配金	1,920,179円	1,912,704円	1,903,814円	1,885,730円	1,872,749円	1,860,165円
h. 分配金(1万口当たり)	8円	8円	8円	8円	8円	8円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
1万口当たり分配金（税込み）	8円	8円	8円	8円	8円	8円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2025年1月21日から2025年7月18日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第58条の2）

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴア・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

# ニュージーランドドル建債券マザーファンド

## 運用報告書

第11期（決算日 2025年1月20日）  
(2024年1月19日～2025年1月20日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年2月18日から原則無期限です。
運用方針	主として、ニュージーランドドル建ての公社債に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

### ファンド概要

主として、ニュージーランドドル建ての公社債に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。ポートフォリオの構築にあたっては、信用力、金利動向の見通し、利回りなどを重視し、リスク分散を考慮しながら決定します。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637165>

## 【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比	純 総 資 産 額
	期 謄	中 落	率		
7期(2021年1月18日)	円 13,469	% 8.3		% 98.4	百万円 3,849
8期(2022年1月18日)	12,964	△ 3.7		98.2	3,073
9期(2023年1月18日)	13,195	1.8		98.3	2,675
10期(2024年1月18日)	14,540	10.2		98.7	2,406
11期(2025年1月20日)	14,694	1.1		98.9	2,053

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額			債 組 入 比	券 率
	騰	落	率		
(期 首) 2024年1月18日	円 14,540		% —		% 98.7
1月末	14,500		△0.3		98.3
2月末	14,684		1.0		98.6
3月末	14,680		1.0		98.1
4月末	14,884		2.4		97.8
5月末	15,388		5.8		99.4
6月末	15,946		9.7		98.8
7月末	15,024		3.3		99.0
8月末	15,351		5.6		98.2
9月末	15,442		6.2		98.3
10月末	15,455		6.3		98.2
11月末	15,065		3.6		98.6
12月末	15,188		4.5		98.5
(期 末) 2025年1月20日	14,694		1.1		98.9

(注) 謄落率は期首比です。

## ○運用経過

(2024年1月19日～2025年1月20日)

## 基準価額の推移

期間の初め14,540円の基準価額は、期間末に14,694円となり、騰落率は+1.1%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・ニュージーランドの5年国債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。

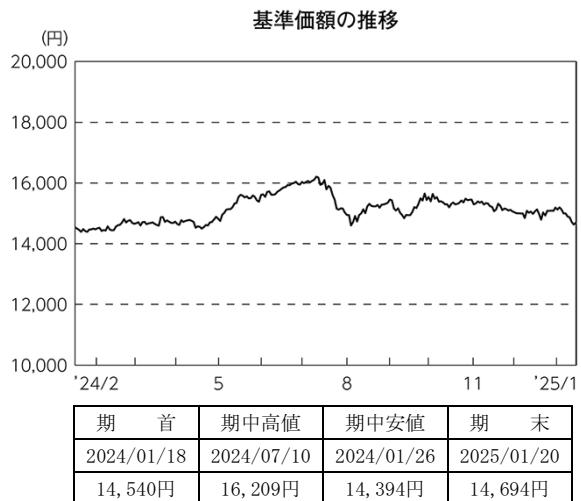
## &lt;値下がり要因&gt;

- ・ニュージーランドドルが対円で下落したこと。

## (ニュージーランド債券市況)

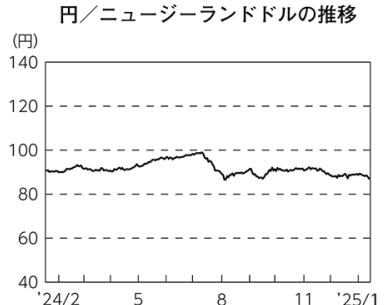
ニュージーランドの債券市場では、期間の初めと比べて10年国債利回りはほぼ横ばい、5年国債利回りは低下しました。

期間の初めから2024年5月下旬にかけては、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）総裁が利下げを示唆したことなどが利回りの低下要因となったものの、ニュージーランドの住宅関連や貿易収支に関する経済指標が堅調な結果となったことや、米国の経済指標が市場予想を上回り米国の景気減速への懸念が後退したことを受けて欧米の長期金利が上昇したことなどを背景に、ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。6月上旬から9月下旬にかけては、ニュージーランドの製造業購買担当者景気指数（PMI）が低調となったことや、消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったこと、欧州中央銀行（ECB）や米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを決め金融緩和に転じたことなどから、ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りは低下しました。10月上旬から期間末にかけては、RBNZが利下げを実施したことなどが利回りの低下要因となったものの、米国の大統領選挙で共和党候補が当選し次期政権が掲げる財政拡張がインフレ高進につながるとの見方が広がったことや、米国連邦公開市場委員会（FOMC）においてFRBによる今後の利下げペースが鈍化する見通しが示されたことなどから、ニュージーランドの10年国債、5年国債利回りは上昇しました。



## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## ポートフォリオ

ポートフォリオでは、B B B一格相当以上のニュージーランドドル建ての公社債の中から、投資対象銘柄を選別しました。

期間中、ニュージーランドドルの組入比率を高位に保ちました。債券種別では、国債と比較して投資妙味の高いニュージーランドドル建ての地方債や国際機関債などの組入比率を高位に保ちました。ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）は、金利上昇の影響を和らげるため短期化し、金利のピークアウトを見計らって長期化するといった機動的な調整を実施しました。

## ○今後の運用方針

グローバルにインフレ率のピークアウトが確認され、各国の中央銀行による利下げが引き続き予想される中、グローバル債券市場は堅調に推移するものと考えています。ニュージーランド国債は2022年11月に主要な世界債券指数に組入れ開始となっており、ニュージーランド債券およびニュージーランドドルは安定して推移すると想定しています。

債券種別戦略につきましては、国債と州債のスプレッド（利回り格差）、事業債の信用力と国債とのスプレッドなどを分析したうえで戦略を決定し、高い収益の獲得をめざします。ポートフォリオ全体のデュレーションにつきましては、引き続き経済市場情勢に基づき決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年1月19日～2025年1月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用 ( 保管費用 )	円 6 (6)	% 0.039 (0.039)	(a) その他の費用=期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	6	0.039	
期中の平均基準価額は、15,133円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年1月19日～2025年1月20日)

## 公社債

		買付額	売付額
外 国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 8,470
		特殊債券	—
		社債券(投資法人債券を含む)	— (2,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年1月19日～2025年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年1月19日～2025年1月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2025年1月20日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 26,090	千ニュージーランドドル 23,239	千円 2,030,214	% 98.9	% —	% 61.5	% 37.4	% —
合 計	26,090	23,239	2,030,214	98.9	—	61.5	37.4	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額	千円	千円
ニュージーランド	%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	1,950	1,979	172,967	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.25	1,200	1,064	92,996	2028/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	2,370	2,273	198,582	2029/4/20
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	2,000	2,028	177,247	2030/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	1,920	1,620	141,566	2031/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	5,750	5,319	464,720	2033/4/14
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	2,850	2,286	199,768	2037/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	1,250	788	68,873	2041/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	900	578	50,536	2051/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.0	700	670	58,610	2054/5/15
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	2.95	500	280	24,517	2050/9/28
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	1.5	2,000	1,774	155,036	2029/4/20
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEVELOPMENT BANK	2.125	1,000	874	76,353	2031/5/19
	L-BANK BW FOERDERBANK	4.0	1,700	1,699	148,435	2027/4/15
合 計					2,030,214	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2025年1月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円	%	
公社債	2,030,214	98.9
コール・ローン等、その他	23,179	1.1
投資信託財産総額	2,053,393	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,046,793千円)の投資信託財産総額(2,053,393千円)に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=87.36円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	2,053,393,132
公社債(評価額)	6,865,980
未収利息	2,030,214,227
未収利息	16,312,925
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	2,053,393,132
元本	1,397,424,815
次期繰越損益金	655,968,317
(D) 受益権総口数	1,397,424,815口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,694円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,654,853,491円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は257,428,676円です。

(注) 2025年1月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型) 1,397,424,815円

(注) 1口当たり純資産額は1.4694円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○損益の状況 (2024年1月19日～2025年1月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	71,891,056
支払利息	71,891,087
△ 31	△ 31
(B) 有価証券売買損益	△ 34,874,460
売買益	53,240,629
売買損	△ 88,115,089
(C) 保管費用等	△ 908,462
(D) 当期損益金(A+B+C)	36,108,134
(E) 前期繰越損益金	751,374,094
(F) 解約差損益金	△131,513,911
(G) 計(D+E+F)	655,968,317
次期繰越損益金(G)	655,968,317

(注) 損益の状況の中(8)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

### 約款変更について

2024年1月19日から2025年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

### その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「[www.amova-am.com](http://www.amova-am.com)」へ変更となります。